

奄美地区地域自立支援協議会
第1回定例会（於：瀬戸内町 2015/7/16）

グループワーク

G W テーマ（ワールドカフェ方式で実施:40人参加）

『地域で障がいのある人が楽しく生活をしていくためには？』

意見まとめ

【サービスの質の向上が必要】

- * 支援の種類が少なく選べないからこそ利用者の安心できる支援、それぞれのサービスの充実へ
- * 資源の情報共有ができていますか？
フォーマルだけでなくインフォーマルな資源（人・モノ）も含めて
情報の整理と発信が必要

【地域の理解と交流の場の設定】

- * サービスが中心地にあり地元で過ごすしかない状態がある。
 - 居場所があれば（場所の確保等、行政の協力が必要）
 - 地域住民の障がい理解を進める（地域の人を巻き込む工夫）
 - ボランティア等支援者も楽しめるような工夫を

【家族の支援が必要】

- * サービスの場所までの移動手段（アクセス）が難しい
- * サービスに行き着かない場合、家族が身近な支援者になる。
 - 家族に対する情報提供
 - 中心地から遠い（サービスにつながらない）家族こそ支援が必要か？
 - アウトリーチの取り組み、身近な場所での支援
 - 病院や行政の家族教室等に、参加が不可能な家族への支援のあり方

【その他】

- * 支援をする人との信頼関係を作る→支援者側の努力
 - そのためには何が必要か？